



## 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月5日

上場会社名 株式会社 大水

上場取引所 東

コード番号 7538 URL <http://www.daisui.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 真部 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長兼総務広報部長 (氏名) 重光 誠

TEL 06-6131-5190

四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	61,308	0.3	51		119	102.3	292	
30年3月期第2四半期	61,097	0.6	7		59	24.0	5	87.9

(注)包括利益 31年3月期第2四半期 332百万円 (309.8%) 30年3月期第2四半期 81百万円 (55.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	21.31	
30年3月期第2四半期	0.39	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
31年3月期第2四半期	21,390		7,079		33.1	
30年3月期	21,690		6,815		31.4	

(参考)自己資本 31年3月期第2四半期 7,079百万円 30年3月期 6,815百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		5.00	5.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	131,000	0.7	340	4.7	470	4.9	510	39.5	37.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	13,774,819 株	30年3月期	13,774,819 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	49,899 株	30年3月期	49,870 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	13,724,933 株	30年3月期2Q	13,725,194 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外政治の先行きに対する懸念や自然災害の影響などがあつたものの、輸出は持ち直しが続いているほか、企業収益や雇用情勢は改善傾向となるなど、緩やかながら回復基調となりました。

当水産流通業界におきましては、国際的な水産物需要の増加等に伴い仕入価格が上昇しているほか、猛暑の影響や天候不順等により漁獲量が減少した影響で荷動きが低調に推移するなど厳しい状況となりました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が613億8百万円（前年同期比2億10百万円増）となり、利益面では営業利益51百万円（前年同期は7百万円の営業損失）、経常利益1億19百万円（前年同期比60百万円増）となりました。また、固定資産売却益1億81百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億92百万円（前年同期比2億87百万円増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

水産物販売事業は、売上高については天候不順や自然災害等による不安定な漁獲状況や輸出品・養殖物の価格の高止まりなどの影響により国内の販売が伸び悩みましたが、国外への販売は堅調に推移したことにより、612億14百万円（前年同期比2億4百万円増）となりました。利益面では売上高の増加に加えて粗利率が改善したことにより営業利益は1億34百万円（前年同期比53百万円増）となりました。

冷蔵倉庫等事業は、売上高については1億23百万円（前年同期比3百万円増）となりました。利益面では売上原価や販売費及び一般管理費が減少したこと等により営業利益は5百万円（前年同期は4百万円の営業損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて2億99百万円減少し、213億90百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が4億9百万円増加した一方、商品及び製品が2億74百万円、土地が4億39百万円減少したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて5億63百万円減少し、143億11百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が5億46百万円増加する一方、短期借入金が9億6百万円減少したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2億63百万円増加し、70億79百万円となりました。これは利益剰余金が2億23百万円増加したこと等によるものであります。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は、23億41百万円（前年同期比10百万円減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加による資金の減少（4億32百万円）、仕入債務の増加による資金の増加（4億88百万円）、たな卸資産の減少による資金の増加（2億74百万円）等により4億10百万円の収入（前年同期は5億17百万円の収入）となりました。

##### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却による資金の増加（6億25百万円）、有形固定資産の取得による資金の減少（61百万円）等により5億58百万円の収入（前年同期は28百万円の支出）となりました。

##### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少（9億6百万円）、長期借入金の返済（83百万円）等により10億64百万円の支出（前年同期は3億57百万円の支出）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期の連結業績見通しにつきましては、平成30年8月21日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,437	2,341
受取手形及び売掛金	9,598	10,008
商品及び製品	3,309	3,035
短期貸付金	300	300
未収消費税等	40	63
その他	126	190
貸倒引当金	△21	△24
流動資産合計	15,791	15,914
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	761	753
土地	2,162	1,723
その他(純額)	84	90
有形固定資産合計	3,008	2,566
無形固定資産	170	89
投資その他の資産		
投資有価証券	2,589	2,651
長期貸付金	280	280
破産更生債権等	677	680
固定化営業債権	829	824
繰延税金資産	15	15
その他	84	117
貸倒引当金	△1,756	△1,749
投資その他の資産合計	2,720	2,820
固定資産合計	5,898	5,476
資産合計	21,690	21,390

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,281	8,828
短期借入金	2,100	1,193
1年内返済予定の長期借入金	166	166
1年内償還予定の社債	500	500
未払金	407	405
未払法人税等	54	30
賞与引当金	143	150
その他	280	238
流動負債合計	11,934	11,512
固定負債		
長期借入金	166	83
繰延税金負債	308	316
再評価に係る繰延税金負債	251	251
役員退職慰労引当金	193	181
退職給付に係る負債	1,671	1,615
その他	348	350
固定負債合計	2,939	2,798
負債合計	14,874	14,311
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,352	2,352
資本剰余金	497	497
利益剰余金	2,721	2,945
自己株式	△19	△19
株主資本合計	5,551	5,775
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,018	1,072
繰延ヘッジ損益	14	0
土地再評価差額金	217	217
退職給付に係る調整累計額	13	13
その他の包括利益累計額合計	1,264	1,304
純資産合計	6,815	7,079
負債純資産合計	21,690	21,390

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	61,097	61,308
売上原価	57,870	57,993
売上総利益	3,227	3,314
販売費及び一般管理費	3,235	3,263
営業利益又は営業損失(△)	△7	51
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	32	33
受取賃貸料	72	71
貸倒引当金戻入額	0	1
その他	15	17
営業外収益合計	123	127
営業外費用		
支払利息	10	10
賃貸費用	36	40
その他	9	8
営業外費用合計	56	59
経常利益	59	119
特別利益		
固定資産売却益	1	181
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	1	183
税金等調整前四半期純利益	60	303
法人税、住民税及び事業税	33	19
法人税等調整額	21	△8
法人税等合計	54	10
四半期純利益	5	292
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	5	292

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	5	292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	77	53
繰延ヘッジ損益	△4	△13
退職給付に係る調整額	3	△0
その他の包括利益合計	75	39
四半期包括利益	81	332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81	332
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	60	303
減価償却費	144	129
賞与引当金の増減額(△は減少)	0	7
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10	△11
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△100	△56
受取利息及び受取配当金	△35	△37
支払利息	10	10
有形固定資産売却損益(△は益)	△1	△181
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1
売上債権の増減額(△は増加)	△1,175	△432
たな卸資産の増減額(△は増加)	△255	274
その他営業債権の増減額(△は増加)	6	△23
仕入債務の増減額(△は減少)	1,752	488
その他営業債務の増減額(△は減少)	93	△19
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	△22
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4	△8
その他	3	△0
小計	509	413
利息及び配当金の受取額	81	45
利息の支払額	△10	△10
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△61	△37
営業活動によるキャッシュ・フロー	517	410
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	75	—
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	—	21
有形固定資産の取得による支出	△97	△61
有形固定資産の売却による収入	1	625
無形固定資産の取得による支出	△1	△2
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	0	0
その他投資の取得による支出	△2	△27
その他投資の回収による収入	0	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28	558
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△199	△906
長期借入金の返済による支出	△85	△83
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△66	△69
リース債務の返済による支出	△6	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△357	△1,064
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	131	△95
現金及び現金同等物の期首残高	2,220	2,437
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,352	2,341

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物 販売事業	冷蔵倉庫 等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	61,009	88	61,097	—	61,097
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	31	31	△31	—
計	61,009	119	61,129	△31	61,097
セグメント利益又は損失 (△)	80	△4	76	△84	△7

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△84百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物 販売事業	冷蔵倉庫 等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	61,214	93	61,308	—	61,308
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	29	29	△29	—
計	61,214	123	61,337	△29	61,308
セグメント利益	134	5	139	△88	51

(注) 1. セグメント利益の調整額△88百万円のうち、△88百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、0百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。